

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	下水道課	山陽水処理センター	No	1
-----	------	-----------	----	---

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)							
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり			4	下水道の整備			1	公共下水道整備の推進				
事業名	グライNDERポンプ維持管理事業													
予算費目	款	1	下水道事業費			項	1	下水道事業費			目	2	施設管理費	
	細目	1	下水道施設管理費			細々目	1	下水道施設管理費			会計種別	特別会計		
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()					予算種別		継続		経常			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)			事業の内容(対象・目的・意図)			事業実施の手段・手順		
低地にある家屋の下水は、自然流下式では不経済となるため、個別にグライNDERポンプを設置し圧送している。平成12年度から17箇所に設置しているが、今後は定期的な保守点検を実施することで、事故を未然に防止するとともに、長寿命化を図りライフサイクルコストを縮減することができる。			低地にある宅内からの適正な排水が図られ、ライフサイクルコストを縮減することができる。			グライNDERポンプの定期点検及び維持補修、清掃を行う。		
活動指標				成果指標				成果指標の到達度(B/A)
グライNDERポンプの定期点検				施設の不具合発生率=(施設の不具合による排水不能時間/(365*24))*100%				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)		100 %
2回		2回		0		0		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	956	955,356	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		956	955,356	
合計		956	955,356	合計		956	955,356

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0	0

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
・初期に設置したものは、平成12年なので、老朽化しており、修繕をしていかねばならなくなっている。	計画的に修繕等を実施していく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	下水道課	山陽水処理センター	No	2
-----	------	-----------	----	---

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)							
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり			4	下水道の整備			1	公共下水道整備の推進				
事業名	小野田水処理センター整備事業													
予算費目	款	1	下水道事業費			項	1	下水道事業費			目	4	下水道建設費	
	細目	1	下水道建設費			細々目	1	下水道建設費			会計種別	特別会計		
事務区分(根拠法令)		自治事務					()		予算種別	新規		臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
(小野田処理区) 下水道供用開始に伴う水処理センターの設置		水処理センターの整備を行うことで、良好な汚水・汚泥処理を可能とし環境保全を推進する。		下水道は適切な維持管理によるサービスの維持、既存施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減、機能高度化のための投資とその平準化が求められており、水処理センター内の設備について、未整備設備及び不良設備について工事発注・施工監理を行っているが、そのためには、平成24年度に長寿命化計画を策定する。	
活動指標			成果指標		
整備実施設備数			設備整備率=(全設備数-未整備・不良設備数)/全設備数*100%		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)	実績値B(単位)
1件(汚水沈砂池改築設計委託)		1件		75.9%	75.9%
					100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	6,132	6,132,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()	3,066	3,066,000
					県支出金 ()		
					地方債 ()	2,700	2,700,000
					その他 ()		
			一般財源 ()		366	366,000	
合計		6,132	6,132,000	合計		6,132	6,132,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0	0				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
・平成25年度以降の改築は、長寿命化計画策定しておかねばならない。	・25年から長寿命化計画を策定していく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	下水道課	山陽水処理センター	No	3
-----	------	-----------	----	---

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり			4	下水道の整備			1	公共下水道整備の推進		
事業名	山陽水処理センター整備事業											
予算費目	款	1	下水道事業費		項	1	下水道事業費		目	4	下水道建設費	
	細目	1	下水道建設費		細々目	1	下水道建設費		会計種別	特別会計		
事務区分(根拠法令)			自治事務 ()				予算種別	新規		経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
(山陽処理区) 下水道供用開始に伴う水処理センターの設置		水処理センターの整備を行うことで、良好な汚水・汚泥処理を可能とし環境保全を推進する。		下水道は適切な維持管理によるサービスの維持、既存施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減、機能高度化のための投資とその平準化が求められており、水処理センター内の設備について、未整備設備及び不良設備について工事発注・施工監理を行っているが、そのためには、平成24年度以降に長寿命化計画を策定する。	
活動指標			成果指標		
整備実施設備数			設備整備率=(全設備数-未整備・不良設備数)/全設備数*100%		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)		目標値A(単位)	実績値B(単位)	
2件(汚泥処理施設機械設備工事、同施設電気計装設備工事)	2件		91.3%	91.3%	
					100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	69,720	69,720,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()	34,860	34,860,000
					県支出金 ()		
					地方債 ()	31,374	31,300,000
					その他 ()		
			一般財源 ()		3,486	3,560,000	
合計		69,720	69,720,000	合計		69,720	69,720,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.9	5,652,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
・平成25年度以降の改築は、長寿命化計画策定しておかねばならない。	・25年度以降から長寿命化計画を策定していく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	下水道課	山陽水処理センター	No	4
-----	------	-----------	----	---

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり			4	下水道の整備			1	公共下水道整備の推進	
事業名	小野田水処理センター維持管理事業										
予算費目	款	1	下水道事業費		項	1	下水道事業費		目	2	施設管理費
	細目	1	下水道施設管理費		細々目	1	下水道施設管理費		会計種別	特別会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務 ()				予算種別		継続		経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
(小野田処理区) 下水道供用開始に伴う小野田水処理センターの設置		流入下水を浄化処理し、適法な水質にして放流し、公共用水域の汚濁を防止する。		水処理センターの修繕・監理監督を行い、運転・保守等は、民間委託する。	
活動指標			成果指標		
対象:小野田水処理センター			(1-違法放流水質検体数/放流水質分析検体数)*100%		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
1施設		1施設		100	
				100%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	21,770	21,769,826	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	115	114,251		県支出金 ()		
	委託料	121,594	121,593,559		地方債 ()		
	使用料・原材料費	198	197,970		その他 ()		
	備品購入費(水質)	294	294,000		一般財源 ()	143,971	143,969,606
合計		143,971	143,969,606	合計		143,971	143,969,606
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.65	4,082,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
事業開始時に比べ下水道法施行令の改正により、放流水質の規制が相当厳しくなっている。水処理センターにおいてもこれをクリアするためには、コストアップを覚悟しなければならない。	

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	下水道課	山陽水処理センター	No	5
-----	------	-----------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	4	下水道の整備	1	公共下水道整備の推進			
事業名	山陽水処理センター維持管理事業								
予算費目	款	1	下水道事業費	項	1	下水道事業費	目	2	施設管理費
	細目	1	下水道施設管理費	細々目	1	下水道施設管理費	会計種別	特別会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
(山陽処理区) 下水道供用開始に伴う山陽水処理センターの設置	流入下水を浄化処理し、適法な水質にして放流し、公共用水域の汚濁を防止する。	水処理センターの修繕・監理監督を行い、運転・保守等は、民間委託する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
対象:山陽水処理センター		(1-違法放流水質検体数/放流水質分析検体数)*100%		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100
1	1	100	100	
%				

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	8,631	8,630,815	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	234	233,047		県支出金 ()		
	委託料	48,099	48,098,058		地方債 ()		
	使用料・原材料費	261	260,085		その他 ()		
	水質管理費	861	860,811		一般財源 ()	58,086	58,082,816
合計		58,086	58,082,816	合計		58,086	58,082,816
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.25	5,416,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
事業開始時に比べ下水道法施行令の改正により、放流水質の規制が相当厳しくなっている。水処理センターにおいてもこれをクリアするためには、コストアップを覚悟しなければならない。	

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	下水道課	山陽水処理センター	No	6
-----	------	-----------	----	---

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)							
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり			4	下水道の整備			1	公共下水道整備の推進				
事業名	下水道ポンプ場維持管理事業(小野田処理区)													
予算費目	款	1	下水道事業費			項	1	下水道事業費			目	2	施設管理費	
	細目	1	下水道施設管理費			細々目	1	下水道施設管理費			会計種別	特別会計		
事務区分(根拠法令)		自治事務					()		予算種別	継続		経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
(小野田処理区) 下水道供用区域拡大に伴う汚水中継ポンプ場の設置		小野田水処理センターまで自然流下による汚水排水ができない区域について、下水の停滞がないようにする。		ポンプ場設備の修繕・監理監督を行い、運転・保守等は民間委託する。	
活動指標			成果指標		
対象:高千帆中継ポンプ場、竜王中継ポンプ場			下水停滞発生率=(設備の不具合による下水停滞時間/(365*24))*100%		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
2箇所		2箇所		100	
		0		0	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	4,163	4,162,356	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
	役務費	64	63,578		県支出金	()	
	委託料	6,173	6,172,278		地方債	()	
	修繕工事費	1,838	1,837,500		その他	()	
合計	12,238	12,235,712	一般財源		()	12,238	12,235,712
				合計		12,238	12,235,712

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0	0

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
ポンプ場設備・機器に経年劣化が現れ始め、更新の時期を迎えようとしている。	

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	下水道課	山陽水処理センター	No	7
-----	------	-----------	----	---

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)							
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり			4	下水道の整備			1	公共下水道整備の推進				
事業名	下水道ポンプ場維持管理事業(山陽処理区)													
予算費目	款	1	下水道事業費			項	1	下水道事業費			目	2	施設管理費	
	細目	1	下水道施設管理費			細々目	1	下水道施設管理費			会計種別	特別会計		
事務区分(根拠法令)		自治事務					()		予算種別	継続		経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順
(山陽処理区) 下水道供用区域拡大に伴う汚水中継ポンプ場の設置	山陽水処理センターまで自然流下による汚水排水ができない区域について、下水の停滞がないようにする。	ポンプ場設備の修繕・監理監督を行い、運転・保守等は民間委託する。

活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
厚狭第2汚水中継ポンプ場		下水停滞発生率=(設備の不具合による下水停滞時間/(365*24))*100%		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100
1箇所	1箇所	0	0	
				%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	1,356	1,355,651	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
	役務費	159	158,078		県支出金	()	
	委託料	1,836	1,835,174		地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	3,351	3,348,903
合計		3,351	3,348,903	合計		3,351	3,348,903

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.1	628,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
ポンプ場設備・機器に経年劣化が現れ始め、更新の時期を迎えようとしている。	

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	下水道課	山陽水処理センター	No	8
-----	------	-----------	----	---

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)							
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり			4	下水道の整備			1	公共下水道整備の推進				
事業名	下水道小型マンホールポンプ場維持管理事業(小野田処理区)													
予算費目	款	1	下水道事業費			項	1	下水道事業費			目	2	施設管理費	
	細目	1	下水道施設管理費			細々目	1	下水道施設管理費			会計種別	特別会計		
事務区分(根拠法令)		自治事務					()		予算種別	継続		経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順
(小野田処理区) 下水道供用区域拡大に伴う市内各所の自然流下による汚水排水が不可能区域への小型マンホールポンプ場の設置	小野田水処理センターまで自然流下による汚水排水ができない区域について、下水の停滞がないようにする。	ポンプ場設備の修繕・監理監督を行い、運転・保守等は民間委託する。

活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
小野田処理区 10箇所		下水停滞発生率=(設備の不具合による下水停滞時間/(365*24))*100%		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100
10箇所	10箇所	0	0	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	1,613	1,612,854	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
	役務費	315	314,195		県支出金	()	
	委託料	1,033	1,032,480		地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	2,961	2,959,529
合計		2,961	2,959,529	合計		2,961	2,959,529

人件費概算	人工数(人役)	
	人件費(円)	0

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
ポンプ場設備・機器に経年劣化が現れ始め、更新の時期を迎えようとしている。	

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート				部署名	下水道課	山陽水処理センター	No	9				
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり			4	下水道の整備		1	公共下水道整備の推進			
事業名	下水道小型マンホールポンプ場維持管理事業(山陽処理区)											
予算費目	款	1	下水道事業費		項	1	下水道事業費		目	2	施設管理費	
	細目	1	下水道施設管理費		細々目	1	下水道施設管理費		会計種別	特別会計		
事務区分(根拠法令)			自治事務 ()				予算種別	継続	経常			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順					
(山陽処理区) 下水道供用区域拡大に伴う市内各所の自然流下による汚水排水が不可能区域への小型マンホールポンプ場の設置		山陽水処理センターまで自然流下による汚水排水ができない区域について、下水の停滞がないようにする。		ポンプ場設備の修繕・監理監督を行い、運転・保守等は民間委託する。					
活動指標			成果指標						
山陽処理区 6箇所			下水停滞発生率=(設備の不具合による下水停滞時間/(365*24))*100%			成果指標の到達度(B/A)			
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)			実績値B(単位)		
6箇所		6箇所		0		0		100	
									%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	1,173	1,172,745	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	168	167,093		県支出金 ()		
	委託料	768	767,406		地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()			2,109	2,107,244
合計		2,109	2,107,244	合計		2,109	2,107,244
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	2,826,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
ポンプ場設備・機器に経年劣化が現れ始め、更新の時期を迎えようとしている。	

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		下水道課		管理収納係		No	1		
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)			
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり		4	下水道の整備	3	浄化槽整備の推進		
事業名	浄化槽整備推進事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	2	環境衛生経費	細々目	2	浄化槽設置推進事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務		(浄化槽法)		予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
公共下水道認可区域を除く区域及び農業集落排水事業計画のうち採択された区域を除く区域において、汚水処理を早期に実現するためには、浄化槽の設置は有効な手段であり、助成制度を今後も継続する必要がある。浄化槽の設置基数についても、地域計画に基づく基数の確保が必要である。		生活排水による公共水域の水質汚濁防止と生活環境向上のため、対象区域内で専用住宅に浄化槽を設置する者に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。		①浄化槽補助金申請(浄化槽設置者) ②補助金交付決定(市から申請者へ) ③着工 ④完成 ⑤実績報告(浄化槽設置者) ⑥設置確認(市) ⑦補助金確定通知(市) ⑧補助金請求(浄化槽設置者) ⑨補助金交付(市)	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(A/B)
循環型社会形成地域計画に基づく浄化槽設置基数の確保			浄化槽設置500基(平成22年度から平成26年度)		
目標値(単位)		実績値(単位)		93	
1年度100基設置		93基設置		%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	浄化槽設置補助金	37,374	34,454,000	財(源割内合訳)	国庫支出金()	12,458	12,458,000
					県支出金()	12,458	11,484,000
					地方債()		
					その他()		
			一般財源()		12,458	10,512,000	
合計		37,374	34,454,000	合計		37,374	34,454,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.35	2,198				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成23年度から県補助金が廃止され、新たに中山間地域限定で2年間のみの補助制度が創設される。従って、県補助金が大幅な減額となり、一般財源からの持ち出しが増加し、市の財政負担が増大する。	山口県合併処理浄化槽普及促進協議会及び県内各市とともに、補助金継続の要望を行う。将来的には、補助単価の見直しも検討する必要がある。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--